

会場決定通知への同封。開会式 体育館毎の連絡事項  
第 70 回鳥取県西部社会人バドミントンリーグ 諸連絡

「西部社会人バドミントンリーグ大会中の救急救命事案発生時対応のお願い」

本年 6 月 30 日に開催しました、第 69 回西部社会人バドミントンリーグ大会に於いて、救急蘇生処置を要する事案が発生致しました。

状況は、試合を終えた選手が体調を崩されました。

体育館アリーナに座っていた状態から気を失い、周囲の参加選手の皆さんに救急蘇生処置を受けました。

救急車の要請、AED の使用、心肺蘇生措置が取られ、到着した救急隊員に引き継がれ、当該体育館に医療関係者が居られた事や連携ご協力をくださった方々によって、迅速な初期対応をして頂き、ご当人は回復されました。

本大会 70 回を迎えるにあたって、選手人命に関わる一番大きな事例でした。

今回の件を踏まえ運営員会では、大会における選手安全確保の対策を検討致しております。

参加チームからの要望で体育館に医師、医療関係者の配置を希望する意見がありました。が、当運営委員会では直ぐに実現する事は人材確保など困難な状況にありますので、まずは西部広域消防からのアドバイスを頂き、皆様と下記の情報を共有して、今後の対策のスタートとしたいと考えていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

①救急蘇生法の講習会実施の検討

②救命処置が生じた場合の処置方法確認

フローチャート作成 参加選手への周知 会場への常備

③体育館で出来る緊急時の初期対応

体育館 AED 設置場所の確認

発生時、とにかく近くの人が駆け寄り「大声で協力を要請する」

呼吸・意識・心肺状態の確認 気道確保 必要なら心臓マッサージ 首、脇の下冷却

救急車の要請 出来る限り詳しく救急指令員と連絡を取続け、指示を仰ぐ

④大会参加の皆さんにお願いしたいこと

初期対応にご協力をお願い致します

**救命処置に対し、職種により知識・経験が異なりますが、お互いを尊重して初期対応にあたって、救急隊員へ引き継いで頂きます様お願い申し上げます。**

⑤そのほか、ケガやけいれん、体調不良等無理をせず大会本部へ報告をしてください。